

其五 其地

一、昭子連絡委員会ノ運用

一、東南地区臨時昭子連絡委員会

本委員会ハ新佈司官ノ部所在地ニ去秋ニ於テ概ネ下月

一同同僚ニ委員長ヲ任セ爾来ニ因テ方針畫策陸續

事項等ヲ指示スル科政存リ是列ニ委員等ノ所管事項

ニシテ指示又ハ説明ニ從テ爾来ニ相立テ事務等ノ案由議決定ム

又各首長委員等ノ担任地内ノ巡階任事爾来ニ社設等ヲ親

明シテ委員会又ハ中央ヨリ来レタる委員等ノ對シテ要望高見ヲ

皇 皇

具伸之又ハ者相互ノ連絡協調ヲ計ル

又各者相互ノ協力ヲ爲ス爲メ採用シテ効果アリト爲ル事頂

ク交際表ニ相互ノ意見ヲ爲シニ改良ス

本委員会ハ中央政庁ノ指示ヲ遵守シテ關係凡官廳並ニ特種

會社等ヲ委員出席シテ凡ク以テ中央官廳ノ指示ヲ遵守ス

世況ノ急変ニ兼知シ本會ニ於テ決定又ハ要望セシ事項ハ

警察雜誌ナル書類ニ見申請書等者略シ速ニ処置シテ実行ス

移スヲ得行多ク大ノ便宜ヲ得タリ

0742

理

又各省ノ相互ノ報告書並ニ在任ノ知ルヲ以テ互ニ競争心ヲ起ラセ

シ各省幹部ハ一般政務ヲ放棄シ白ラ第一線ノ陣鬪ニ立

テ民衆ノ協力苦シク其ニ殆本籍ニ在リテ行ハルニ過シテ

風潮ヲ招来セリ本年會運ハ好シク行ハレ結果

ト云フモ日進エテ

又各省報告書連綿委員會

本委員會各者公署等所出之書類ニ對シテ新隊員ヨリ各者各縣

報告書並ニ其他ノ委員等ヨリ會ニ報告書毎月一回又ハ必要ニ依

陸軍

東南部臨時出張連絡委員会と同様並旨ニテ用儀ニ

本委員会委員必由之旨ニテ討伐司令部部員討伐司令官又ハ並任

古希僑出張員各様ノ出張出張ノ承知シ且テ討伐司令部部

ノ要望又ハ注意事項等ヲ指示シ上下相互ノ連絡協調意旨

ノ疎通ヲ計ル

各様競争的ニ出張出張正三條ノ邁進スルノ風ヲ振興スル

東南部臨時出張連絡委員会ニテ

3. 各務出張出張連絡委員会

有出張出張連絡委員会ト同様並旨ニテ用儀多クノ効果ヲ上ク

0744

五、特務情報報告會議

討伐司令部主任等、謀議特別工作部長、北部中佐主任等

概不毎月一回、吉林ニ於テ各省特務情報関係者、日満軍需兵隊

特務関係者、各軍管区情報報隊、各討伐隊情報報隊

並ニ討伐司令部、軍需兵部長、同地、支那革命情報、日軍高層

察廳派遣員、革命情報、反滿抗日関係情報

某二國ニ情報報ヲ交換シ相互ノ連絡ヲ密ニス

此際情報報告員某二國ニ立案者ヲ方針指示者ヲ與ヘ

陸 軍

情報活動ニ多クノ成果ヲ又元陽セリ

其、他、執、件

現行犯逮捕ノ裁判ニ関シ民衆ヲ多ク加セシムル件

部落ヲ籠ル警察ノ暴行抑止ヲ擅ニスル上、匪ハ捕物ニ於テ名物

トモ稱スベキモノナリ

彼等ノ裁判ヲ民衆ヲ度外視シテ法庭ニ於テ知断スルモ

民衆ニ與ルニ效果ハ甚ダ少シ

ハ、酌、酌

由テ本誌伐同断クノ如キ裁判ニハ民衆ノ意見ヲ採納シ現地

0746

ニ於テ裁判ヲ公用真ニ知断スルトヤリ

其要領及一例左ノ如シ

吉松省 某部某格ヲ社匪攻撃ニ民衆ヲ殺害 擄奪ヲ暴行ヲナ

スルニ 匪十數名及彼等ニ由テ通シ部某格社匪攻撃ニ誘導ス

セシニ通 匪者若干名ヲ其贓品ト共ニ一籠打盡逮捕セリ

由テ裁判官現地ニ出張被害部某格ニ至リ民衆ヲ集メ其面前

ニ土 匪及通 匪者ヲ引出シ贓品ヲ陳列シ是ヲ民衆ノ擄奪等セリ

レタル物品ヲ返還シテ 匪賊ノ四指杖ヲ知ラセ、彼等ヲ如何ニ処罰

陸 軍

0747

スルヲ可トスルヤリ同ク 民血水ハ何レモ 正ニ死刑執行ク出張ス
即チ民血水ノ面前ニ於テ滿州國官民(滿人)ニ於テ死刑ヲ
執行セリ

此際惡シ民血水ノ保護シ下渡ラセテモ、御村長又ハ有力者
ノ保護ノ下ニ正ニ民血水ニ下渡スヲ可トス

斯クハ干渉合本例ノ如ク民血水ハ多クハ死刑ヲ要ス而シテ民

衆ハ官憲ノ処置ニ感シ益ニ官憲ヲ信頼治事甫正ニ

積極的ニ協力スルニ至ルノコトヲ通 匪者等ヲ甚知テ憎ム

0748

ニ著 匪民外離ニ裨益スル処大ナリ

死刑ノ執行ノ犯人滿州人ナル場合ニ於テハ 滿洲國官吏トシテ之ヲ

ケ之ヲ担者スルハ何トナリ民族的反感ヲ被テ之ヲ受テ刑

者ト同民族ノ官吏ヲ使用スルノ著意 懸念要ナリ

之ニ及ニ被テテ之ヲ受テ之ニカ如キ場合ニ於テハ 日露ニ於テ担者スルハ

民族的感情ヲ阻害スル上之ニ於テ有利ナリ

